

日四月六

常警每日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告料 五元 十元 二十元 三十元 五十元 一百元
 印刷所 常警印刷部 電話 六三〇番
 發行所 常警印刷部 電話 六三〇番
 印刷所 常警印刷部 電話 六三〇番

歯を丈夫に保つ法

原 清 一

歯と歯茎との間に膿がたまって、之が少しづつ出てくる慢性の病気がありまして、自分では殆んど気がつかないほどで、痛くもなく唾液が粘つて口が臭い位でありますか、だんだん進むと歯茎は腫れて赤紫となり、出血もしやすくなり、膿は次第に多く出るやうになります、後には痛むやうになり、歯がぬけあがつてブラブラに動き、結局自然にぬけるやうな運命をもつた病気があります。然も傳染病ではありませんから一時に澤山の歯が侵されますので、外國人は肺結核のやうに大變恐れてゐます。又この病氣は全身ののいる病氣を起す原因となりますから氣をつけなければなりません。

この病氣にかゝる人の齒は、一般に丈夫でムシバの少ないこと中年以後の年輩の人に多いのであります。齒槽膿漏は早く手當をすれば必ず癒りますが、早いうちは氣づかないことが多いためです。年二回は齒の健康診断を受け、その際この病氣を起す主なる原因である齒石即ち齒鹽の除

去をして貰うことが大切であります。

五 人工の齒

そつと据えておく骨董の類でさへ傷がつくのですから、どんなに注意をしてゐても年中活動してゐる人間の身體に傷のつかないといふことが、却つて不思議な位です。

怪俄のために片脚の無い人、片眼の潰れてゐる人が義足をつける、義眼を入れるといふ工合になるべく原型に復させやうと努力してゐますが、然し義足が天然の足と同等の働きをすることが出来ず、義眼によつて見ることの出来ないのは申すまでもありません。

西洋人が美しい齒を出して笑つてゐる寫真を見ると如何に齒が丈夫でムシバなどないやうに思はれますが事實はこれと反對で文明病といはれるムシバのない筈が、日本人のやうに無精でなく早く手當をしておくからであります。あの美しい齒の中には多くの義齒が交つてゐるのです。然もその義齒は一見自然の齒と何等の區別が出来ない程美しく並んでゐます、外観ばかりでなく、齒本來の役目である咀嚼の力も殆んど天然に近く恢復されるのであります。

ムシバは豫防が第一であります。一度侵された時は速に手當をなすことは勿論、もしも之を失ふやうなことがありまして、顔の容が醜くなつたり、談話に障礙を來したり、或は食物の咀嚼が出来ないやうになつても、人工の齒はこれを恢復させてくれます。完



雲雀

H K

雲雀は

春の天使——挑烟がはにかんで化粧する

董が石陰に覗いてみる

雲雀は

空の手品師——

その聲につれて

ゆら／＼麥が背伸びする

麻酔する猫

あゝ何と麗かな春の陽よ

看護婦急派の求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七

五月人形賣出し

尙武日本を表象して若葉の空を泳ぐ鯉職、武者人形も勇ましく陳列いたしました、是非御覽下さいませ様御願いたします

其他特製、御座敷職、御陳道具、御太刀類
 豊富に取揃特價に御願致します

平町三丁目

金太郎玩具店

旭硝子株式會社製品 板ガラス

赤菱印 菓子壘

菓子食器

其他各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番) 仙臺市榮町(電五九七番)

新車購入御披露

御待ち兼ねの一九三四年マスターセダン!!!本縣下の第一車が皆様の昭和へ入りましたニアクシヨの装置絶好の乗心地是非御試乗の程御願ひ致します。

呼び良い電話三四〇番増設致しました。

平町前 昭和タクシー 電話三四〇番 三四三番

開業

内科一般 川井安子

川井内科診療所

平町南町六五(舊居) 電話二四三番

吸入用 尿酸素 純度 99%

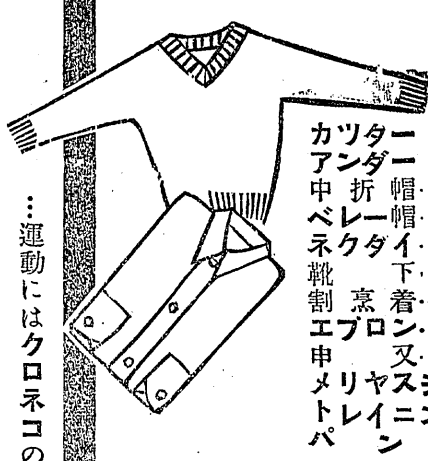
度量 モノサシ
 換量 マス
 ハカリ
 秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
 寒 暖 計

開内藥局

電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

新型洋品豊富



- ツター 85.25
- アンダー 30
- 中折レタ 95
- ネ靴制 25
- エ申 30
- メト 10
- ヤツ 65
- シ 20
- ニ 20
- ン 50
- 1.25

平町二丁目【電話六〇五番】
 山家メリヤス店

是非!

御融通には御利用下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平四・電六〇六番

月曜是非

壯丁の體格と町營運動場

石城郡の徴兵検査結果に依ると甲種十四名、乙種六十七名が減少し、その反對に丙種と丁種は八十四名の増加を來した、即ち郡内壯丁の體格が如何に低下したかを是等の數字が如實に物語つて居る譯である、殊に平町は郡内折りの劣勢であると聞くに及んで、軍國熱の旺盛な折柄だけに、一通りならぬ不面目さに、面はゆい感がある。

壯丁の體格低下が國力の後退を來す結果になる事を思へば、此問題は非常時日本に直接影響ある重要性を多分に持つて居る意味に於いて、輕卒に型付けて終ふ譯にはゆかない。

今後青年訓練所や青年團に此點に留意しての活躍を期待すると共に一方スポーツ熱を高調する事も勿論對策の一つであると思ふ。

夫れにしても平町が良きグラウンドを持たず、然も後進湯本町に先鞭をつけられ

て呆然たるは餘りに情ない事である、スポーツの條件としてグラウンドを忘れる事は出來ない良きグラウンドを持たぬ平町にスポーツの興らぬは當然である、従つて夫れは壯丁の心身にまで波及して遂に體格を劣悪化する間接的原因となる、殊に今度の縣下中等學校

野球大會の如き當番開地

が平町と決定して居るに拘らずグラウンドなきを理由として、平町に開催する事に反對の聲が起り、危く中通り地方に開催地を奪取されんとした、是れは平町に對する警報であり、寧ろよき刺戟であつたと思ふ。

目覺め、グラウンドを無用の長物視する様な、時代に即せぬ眼の梁りを取らねばならぬ、そして一日も早く多年の懸案を解決し、青少年の體育に資して一方町の發展を圖り、引いては國力の充實に寄與する處がなくはならぬ。

一名を残して

他は全部合格

良成績の平町理髮受驗者

去月十五日より三日間に亘り郡山市に於て施行された本縣理髮及び結髮試驗の合格者は昨日發表されたが平町關係者は左の如く受驗者十九名中不合格者は僅か一名で今迄にない好成绩を示した

東郷家 禮狀

平町に到着

去月三十一日故元帥東郷平八郎氏の遺族に弔意を表すため平町長青峰太郎氏から弔電を發したに對し今日四日嗣子東郷彪氏から左記禮狀を寄せられた

(理髮)田澤庄助、園部清三、佐浦長吉、中尾照富永きくよ、林卯之明、木村せつ、大河原武雄、園部義雄、三瓶正治、佐藤末吉、坂本義一(結髮)木村かつ子、佐藤とめ、渡邊みさ、宗像ふゆ、長

修養に體育に...

平青年團陣容成る

既報平町青年團では昨三日午後七時よりマルトモホールに於いて幹部會を開き郡評議員及び修養體育兩部長の改選を行つた結果

(郡評議員)加藤正保、補充養谷喜多郎(修養部長)

大嶺庫、理事蛭田千代松、同山崎忠兵衛(體育部長)佐々木俊男、理事佐藤源吉、同佐藤信夫(同理事囑託)永島磯惣太、吉田松雄、石一雄、熊謙次郎、水竹之助、根本武

雄

と決定、尙兩部の行事として修養部では本月中旬双葉郡富岡町出身吉田季雄氏を招き南洋に於ける郵便事業に就いて講演を乞ひ一方體育部では來月上旬町民體育大會、九月中旬には町内野球大會、十一月三日には各分團の驛傳競争を催すプランが決定した

衛生座談

横山署長が

藝妓屋召集

平署では今日午後一時から管内の藝妓屋組合員を同署會議室に召集、横山署長の營業上の注意訓示あり次で衛生保健その他に就いての座談會を開いた

教育部會

役員決定

既報昨日午前九時より平第一小學校に開かれた郡教育部會總會席上に於ける役員改選の結果

(會長)後山廉(副會長)津田達造、西山直三郎(縣代議員)後山廉(郡代議員)一區渡邊義唯、二區安藤力、三區作山勝枝、四區鈴木龜之助、五區赤津欣之助

町村長會

評議員改選

石城町村長支會總會は來る九日午前十時から平町役場會議室で開き評議員改選其を協議する

海軍召集協議

管内兵事主任の海軍召集事務協議會は今日午前十時から平署會議室で開いた

湯本町戸數割

湯本町では今日から三日間に亘つて町會を召集し九年度戸數割その他を附議する

對坑劍道延期

對古河對坑劍道試合は來る十日舉行の筈であつたが都合に依り十七日に延期となつた

平商コーチ開始

平商野球部では本年度縣下中等學校野球大會も愈々來月に迫り各校共本格的練習に入つたので現早大野球部外野手横山正美氏にコーチを受ける交渉中の處同氏の快諾を得る昨日來校種々打合せの結果昨日午後よりコーチを開始した

役場軍辛勝

平役場

明日は故東郷元帥の國葬當日に付敬

弔の意を表し休業仕り候

六月四日

石城銀行組合

對平驛車掌所野球戰は二日午後三時から平第三校庭で舉行九對八で役場辛勝

入山軍も破る

入山炭礦對日立製作所野球戰は三日午後一時から縣本入山グラウンドで日立軍先攻で開始クロスゲームを演じたが遂に三對一で入山軍惜敗した

社告

明日は故東郷元帥國葬當日に付き弔意を表し休刊仕候

五月四日 常磐毎日新聞社

磐炭軍慘敗す 磐城炭礦對福島鐵道俱樂部野球戰は三日午後一時から内郷村高坂球場で福鐵先攻で開始十八對九で磐炭軍慘敗した

磐000122003 9 福902601000 18

平町人事

回婚 姻

△茨城縣久慈郡太口町二〇六六ノ二所玉次郎氏(五三)長橋町二八關かねさん(五八)

齒の丈夫な

兒童にけふ賞状

ムシ齒豫防デーをトして

平第一、第二の兩校では先般生徒の齒牙及び口腔を各校醫が検査した結果左記兩校の口腔強健優良兒童に對し本日虫齒豫防デーをトし縣齒科醫師會よりの賞状を傳達した

- (第一校)伊藤晃男 一ノ二渡邊眞一 一ノ三谷口忠次 三ノ二渡邊勝也 三ノ四増淵喜市 五ノ一清野豊一 五ノ二豊口正勝 五ノ三門馬政衛 六ノ二小林傳雅名優 高一ノ一小谷磐夫 松崎富夫 會川忠弘 高二ノ一高萩市郎 蛭田秀雄 阿部保三 鈴木喜一 池津厚 佐川孝一(第二校)一ノ一柴田佳代子 一ノ三吉田静子

- 一ノ四前島ヒサ子 二ノ一木村ヒデ 猪狩ミツ 二ノ二金澤キヨ 三ノ三二階堂ヒナ子 四ノ一飛田充子 四ノ三椎名喜代子 五ノ一石井ヲイシ 島田末子 五ノ二穂積ハナ 堀越季子 目黒フミ 五ノ三根岸トキ子 五ノ四村山ヨシ子 六ノ二眞田フミ子 佐藤惠美子 六ノ三藁谷カツユ 三瓶キイ 高一ノ一草野美代子 高一ノ二磯貝トミ 佐藤みよ子 佐藤アサ 高一ノ三栗田ケイ子 水谷ユキ 赤坂和子 大久保英子 藤田季子 根本イチ子 高二ノ二高岡キセ 武田龍子 木下久子 格和亭子

を模して本格的舞踊の真髓を現すべく意氣込んで居り純益は細民救済の目的を以て平町助成會に寄附する管で唄手や三絃鳴物の出演者は目下選定中だが出し物及び踊りては左記の如く決定した

- 「舌出し三番叟」花柳徳三郎 花柳徳兵衛「小銀治」松の緑「小齋ヨネ子」菊がくし「藤田外八名」羽根の禿「安齋テル子」藤田テル子「四季の山姥」以上兩日とも一十六日「越

大掛りな

舞踊大會

花柳社中が

東都から名人を招く

花柳徳三郎舞踊會主催の舞踊大會は来る十六、七の二日間平町聚樂館に於て開催されるが當日は特に東都より花柳徳兵衛師を始め鳴物

として望月左近社中より五名及び衣裳師かつら師大小道具師顔師等十六名を招聘舞踊に鳴物に舞臺装置に扮裝に東都に於ける大温習會

萬引常習の

女がほえる

注射氣が失せ

髪ふり亂して

陰鬱な平署の留置場

四日午前二時頃湯本町驛前附近を徘徊中の舉動不審の女を駐在署員が引致取調べると同女は宮城縣刈田郡村田町小泉生れ當時住所不定小原ひさ子(二七)と稱しマルコポン・スコプラン

願し隙を窺つては金品を搔き拂つて逃走する不敵の女白浪と判明したが前日午前十時頃湯本町字三國洋品店若松實次郎方から女子用ガ一ゼに肌着、紙入、墓口等を窃取した外

各方面で 万引を働いたらしく平署の留置場に入られるや藥氣の欠乏から

明日の天気
五 a
今晩も明日も北東の風曇小雨

今晩の部

- 後六、〇〇(子供の時間)お話「人體めぐり」一四杉山不二
- 後七、三〇講演「歴史上より観る東郷元帥」徳軍樂隊

富猪一郎

- 後八、一〇浪花節 東家
- 後八、五〇琵琶「噫東郷元帥」榎本芝水
- 後九、一〇吹奏樂 海軍

明日の部

- 後九、三〇時報
- ス 氣象通報 番組豫告
- 前四、四〇小島帝聲實況
- 前六、三〇基礎講話講座
- 前七、二〇聖典講義「聖徳太子十七條憲法」二曉鳥敏

子を追ふ母

諸共車輪に

母親は其儘絶命

小名濱運轉手の事故

小名濱町自動車運轉手小松長吉(三)は去る二日トラツヤを運轉して東京市葛飾區下千葉町を疾走中子供を追つて道路に飛出した同町姜守崇の妻清英(三)と同人の長男昌鈴(三)の親子を轢き倒し母親は頭部を強打して絶命長男には全治五週間の重傷を負した

故買で兩名とも檢舉された野營を試む 平商の職員 平商業學校職員一同は来る六日午後駒場大尉指揮のもとに新舞子海岸に野營を試み幹部演習を行ふと

裁判所たより

- △双葉郡浪江町字新町無職渡邊隆綱(三)は去月十二日同町カフエー松竹事石川チヨ方で飲酒中居合した八島文義(三)と口論して八島の顔面に全治十日間の傷を負はし渡邊の同僚門馬小齋治(三)は八島が喧嘩の仕返しに来るだらうと無許可で刃

平職界の所報告

- △製糸女工見習 十五一二十才位 尋卒
- △商店雜役 尋卒 年七十圓一圓位迄
- △女中 十七一三十才迄 給料面談
- △自動車修繕 二十才前後 尋卒 月五、六圓
- △回職を求める方
- △商店員 二十九才 高卒
- △雜婦 三十五才 尋五修
- △洋服工 十八才 高一修

近斬立頭

(藤岡敏上段及上巻)

田邊南龍(作)
山本英春(畫)

—四九—

それは太い野郎だ
『モシ、和女さんは小平さんの内儀さんか』
『ハイ妾はふきと申します誠に早朝からお宅をお騒がせ申しまして恐れ入ります何でございますか今朝脇差の事に就いて親分子分の益を返して、元締様のところへ往つて證人になつて、次第によると命はないのだから、一子の養育を頼むよと申して、妾のことを大事にして、お話し申しやア、長い事ではございますが、人に知られた庵崎村の身代をこの人の爲に無茶苦茶にされこれからは妾も路頭に迷ひます、男の子に付くが天下の定法ださうでございますから何卒親分さん、御裁きをお願ひ申しとうございませう』

『イヤ實アお内儀さん、小平さんのいふ事が曖昧して居つたによつて、さては小平さんは法華さんと誤合ひで来たのかと思つて居たがお内儀さんの來なすつたとお内儀さんの見やア疑ひも解けました……サア小平さん花川戸へ行かう』
『そりやア、何うもお疑ひが晴れまして有難うございませう』



『有難う存じます』
『相憎當家にやアお内儀さんの着るやうな物がねえから、一枚買つて來なさい、小平さんには俺の新しいのがある、大分着物に血が付

いて居るから着替へなざるやうに』
『有難う存じます』
『いつて居るところへ』
『エ、親分、神田の先生が入らつしやいました』
『ヤツそりやア恰度好いところだつた』
と立出で
『サア先生何卒此方へ……』
『これは端近までお出迎ひは恐れ入ります』
『どういたしまして……若先生御苦勞様でございますツルツルテンの袴に高い

て無事に……』
『イヤ早速御聞き濟み下さつて有難うございませう』
『先生お早うございませう』
『ヤア貴様は小平ぢやねえか』
『ヘエ小平でございます』
『貴様の親分と云ふのは花川戸の法華長兵衛……何だつて貴様此處へ來て居るんだ』
『私は口不調法、何卒元締さんから一伍一什のお話を願ひとうございませう』
『どうして元締小平が此方にきて居ります』
『唯今尊宅へ上がらうと存じて居つたところ、折角の御盡力ではございますが、斯う、斯う云ふ譯、掛け合ひに行つたところで俺が悪かつた堪忍しろとは申しますまい』
『夫やア憎い野郎だ、拙者はそんな事とは知らないから、弟分にして貰つて呉んなさるか何うだか知らねえが、屋敷を貰つて屋敷渡世をさせてやらうと思つたんです』

石炭
玉石
コークス
炭
平驛前
阿部石炭商店
電話三七番

耳鼻咽喉科
大和田醫院
平町南一丁目一七番六

市土産
貝焼
魚問屋
ウニヤキ
店理代平命生本日大最優最
榮盛賀志
(三一二電)目丁四平

外科
門專
線光X
上田外科醫院
平町南町
電話一九二番

喜多流 謠曲仕舞の
お稽古をお勧め致します
平田町九六
喜多流 謠曲仕舞
白土會
電話一二七番

産婦人科
院長 木村寅次郎
醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 立番彌一
平町新川町十九
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番